

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 視能訓練士学科1年制 | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|--|---|----------|-----------------------|-----------|
| 科 目 名 | 視能矯正学各論 I | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) |
| 対 象 学 年 | 昼間部1年 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 合同校舎702教室 |
| 担当教員 | 村上 裕美 | | | | |
| 実務経験と その関連資格 | <p>【実務経験】 視能訓練士として神戸掖済会病院勤務1年半、眼科一般を学び、その後兵庫医大にて斜視弱視・神経眼科を中心に眼科での一般検査訓練を18年行い、ささもと眼科にて一般検査・斜視外来を担当した。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士、日本弱視斜視学会会員</p> | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | |
| 斜視弱視の基礎的な知識をまとめ、斜視学の導入授業として、斜視の基本を学ぶ | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | |
| 平常点:20%(小テスト) 本試験:80% | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | |
| 視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 視能学エキスパート 視能訓練学第2版(若山曉美 他編集,医学書院,2023) | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | |
| 当日使用したテキスト・レジュメを元に復習し覚えるべき事を覚え、不明な点は翌日質問する | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 学んだ事をノートにまとめ覚える練習を繰り返す。毎日復習する | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 1 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 斜視とは何か概念を学ぶ | 視能学・レジュメ | 該当テキストの場所を一読しておく | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 斜視の定義・診断p312～318 眼球運動 p342～343 | | | |
| 第 2 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 斜視とは何か概念を学ぶ | 視能学・レジュメ | 該当テキストの場所を一読しておく | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 斜視の定義・診断p312～318 眼球運動 p342～343 | | | |
| 第 3 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 斜視検査の入口の検査であるカバーテストを理解する | 視能学・レジュメ | 該当テキストの場所を一読しておく | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 小テスト・カバーテスト・眼球運動検査 p313～328 Hirschberg | | | |
| 第 4 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 斜視検査の入口の検査であるカバーテストを理解する | 視能学・レジュメ | 該当テキストの場所を一読しておく | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 小テスト・カバーテスト・眼球運動検査 p313～328 Hirschberg法 | | | |
| 第 5 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 眼位図示でき理解する | 視能学・レジュメ | 該当テキストの場所を一読しておく | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 小テスト・カバーテストの説明・眼位の図示・プリズムの説明・中和法 | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--|----------|-------------------|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 眼位図示でき理解する | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・カバーテストの説明・眼位の図示・プリズムの説明・中和法 | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | 近見立体視検査理論を学び手順を覚える | 視能学・レジユメ | レジユメを一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・近見立体視検査P339~366 | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 眼位を図示しプリズムを用いるようになるかを考える | 視能学・レジユメ | レジユメを一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・眼位の図示・プリズムの説明・中和法 | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | 眼位を図示しプリズムを用いるようになるかを考える | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・眼位の図示・プリズムの説明・中和法 | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 内斜視の分類ができ特徴を覚える | 視能学・レジユメ | レジユメを一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・斜視の各型・内斜視・外斜視 p355~366 | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | 外斜視・その他の斜視の分類を覚える | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 小テスト・斜視の各型・内斜視・外斜視 p355~366 表の作成準備 | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | 斜視各型をまとめ覚えましょう | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 各型の表作成 | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | プリズム使用にて内斜視作る理論 | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 斜視各型小テスト 眼位検査(Hirschberg法・Krimsky法)・SPCT | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 上下斜視を理解する | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼位の図示上下斜視の時 対応も併せて | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 眼球運動を理解する | 視能学・レジユメ | 該当テキストの場所を一読しておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼球運動と作用筋を理解し実習につなげる | | |